



大阪の小学生と平和学習



4年

松村優依

広島文化学園大（広島市安佐南区）の学生22人が、修学旅行で広島を訪れた大阪府茨木市の郡山小の6年生約60人に平和記念公園（中区）を案内した。

子ども学科の学生たちによるボランティア活動の一環で、昨年続き2回目。学生たちは同公園を下見したり、園内の慰霊碑について学習したりするなど事前に準備。5月のG7サミット（先進7カ国首脳会議）で首脳たちが園内で行った植樹など

被爆アオギリなど案内

新たな情報も用意した。

案内当日は、被爆アオギリ、原爆の子の像など、児童たちが計画した見学コースを一緒に回った。平和の池のほとりでは、「平和の灯は、どうして雨が降っても火が消えないのですか」などの質問に丁寧に回答。分からないことは一緒に考えた。

昨年が続いて参加した4年の大平惟穂美さん（21）は「前回と比べて、説明が難しい場所でも一つ一つかみ砕いて話せたと思う。この活動は、県外の子ともたちと触れ合える貴重な場になっている」と話していた。



郡山小の児童に平和記念公園内を案内する学生（左の2人）